

製品安全データシート (MSDS)

最新更新日 平成 26 年 10 月 1 日

| | | |
|------------|---|--|
| 1、製品及び会社情報 | 製品名 | 嘔吐物処理剤 |
| | 会社名 | 神栄産業株式会社 |
| | 住所 | 〒171-0033 東京都豊島区高田 3-16-4 鹿野ビル 2 階 |
| | 担当部門 | クリーン環境グループ |
| | 連絡先 | 03-5391-3561 |
| 2、危険有害性の要約 | 【GHS 分類】 | GHS 分類基準に該当しない |
| | 【GHS ラベル要素】 | |
| | 絵表示 | なし |
| | 注意喚起語 | なし |
| | 危険有害性情報 | GHS 分類基準に該当しない |
| その他の危険有害性 | <ul style="list-style-type: none"> ・長期にわたり許容濃度以上の粉塵を吸入すると、呼吸器に障害を起すおそれがある。 ・長時間直接皮膚に触れると、皮膚が乾燥して肌荒れを起すおそれがある。 | |
| 3、組成及び成分情報 | 単一製品・混合物の区別 | 混合品 |
| | 成分名 | <ul style="list-style-type: none"> ・天然ゼオライト (モルデナイト) ※本品は天然に産出するゼオライトであり、天然由来の石英、長石類等の異種鉱物が混在する。 ・高吸水性ポリマー (アクリル酸系) ・メチレンブルー ・硫酸銅(Ⅱ)五水和物 ※含有量は非公開 ※メチレンブルー及び硫酸銅は天然ゼオライトに固着させた状態 |
| | CAS No. | 12173-98-7 (モルデナイト) 61-73-4 (メチレンブルー) 7758-99-8 (硫酸銅(Ⅱ)五水和物) |
| | 官報公示整理番号(化審法) | (5)-1995 (メチレンブルー) (1)-300 (硫酸銅(Ⅱ)五水和物) |
| | 官報公示整理番号(安衛法) | 第 57 条 2 の 1 項 通知対象物 政令番号 312 (シリカ) 第 57 条 2 の 1 項 通知対象物 政令番号 379 (硫酸銅(Ⅱ)五水和物) (5)-1995 (メチレンブルー) (1)-300 (硫酸銅(Ⅱ)五水和物) |

| | | |
|---------------|-------------|--|
| 4、応急処置 | 目に入った場合 | こすらずに清潔な流水で 15 分以上洗い流す。 まぶたの裏まで完全に洗い流すこと。 コンタクトレンズを容易に外せる場合は外して洗い流す。 炎症が生じた場合は医師の手当て、診断を受ける。 |
| | 皮膚に付着した場合 | 付着物を布で拭き取り、水でよく洗い流す。 炎症が生じた場合は医師の手当て、診断を受ける。 溶剤、シンナーは使用しないこと。 |
| | 吸引した場合 | 空気の新鮮なところに移し、鼻をかみ、うがいを行う。 呼吸しやすい姿勢で休息させる。 気分が悪い場合は医師の手当て、診断を受ける。 |
| | 誤飲した場合 | 少量の場合は口をすすぎ、うがいを行う。 嘔吐物は飲み込ませないこと。 気分が悪い場合は医師の手当て、診断を受ける。 |
| 5、火災時の措置 | 消火剤 | 水、炭酸ガス、泡、粉末、乾燥砂 |
| | 使ってはならない消火剤 | なし |
| | 特有の消化方法 | なし |
| | 火災時の特融危険有害性 | 一酸化炭素、二酸化炭素、アルデヒドその他有害ガスと蒸気を放出することがある。 |
| | 消火を行う者の保護 | 保護具を着用すること。消火は風上から行うこと。 |
| 6、漏出時の措置 | 人体に対する注意 | 粉塵から身を守るため、保護具を着用し、眼、皮膚への接触や粉塵の吸引を避け、速やかに清掃する。 (8、暴露防止及び保護措置 の保護具参照) |
| | 回収 | できるだけ粉塵が生じないよう電気掃除機、ほうき等で集めて空容器に回収する。 床面が滑りやすくなるので転倒に注意する。 |
| 7、取扱い及び保管上の注意 | 取扱い上の注意 | 粉塵が生じないよう作業する。もし粉塵が生じる場合は、眼、皮膚への接触を避けるため適切な保護具を着用する (8、暴露防止及び保護措置 の保護具参照)。 室内で作業する際は集塵機等を取付ける。 酸化物との混触を避ける。 |
| | 保管上の注意 | 容器は遮蔽し、直射日光、高熱を避け、乾燥した場所に密閉して保管する。湿気、水濡れを避ける。 |
| | 容器・包材 | 透湿性のない素材のものを使用する。 |

| | | |
|--------------|-------------------|--|
| 8、暴露防止及び保護措置 | 管理濃度 | 日本産業衛生学会 許容濃度 第1 粉塵 総粉塵 2 mg/m ³ 、吸入性粉塵 0.5 mg/m ³ |
| | 設備対策 | 取扱い場所には、塵機や局所排気装置を取り付ける。 取扱い場所の近くにシャワー、手洗い設備を設ける。 |
| | 保護具 | 呼吸器の保護：粉塵マスク 手の保護：保護手袋 目の保護：ゴーグル型メガネ 皮膚及び身体の保護具：長袖作業着、作業帽、安全靴 |
| 9、物理的及び化学的性質 | 外観 | |
| | 物理的状态 | 個体 |
| | 形状 | 粒状 |
| | 色 | 淡黄色、白色、青色の混合 |
| | 臭気 | 無臭 |
| | 発火点 | 400℃以上 |
| | 揮発性 | 無し |
| | 嵩密度 | 0.65～0.80 |
| | 溶解度 | 水：ゲル状に固化する（天然ゼオライトは不溶性） エタノール、アセトン：不溶 |
| 10、安定性及び反応性 | 安定性 | 通常の温度、圧力の条件下では安定している |
| | 反応性 | 強度に乾燥脱水した製品は、水と反応して発熱することがある。 |
| | 避けるべき条件 | 酸化物と混触させないこと |
| | 危険有害な分解生成物 | 燃焼、熱分解時に一酸化炭素、二酸化炭素、アルデヒド、およびその他の炭酸ガスが発生する可能性がある。 |
| 11、有害性情報 | 急性毒性 | データなし |
| | 皮膚浸蝕性及び皮膚刺激性 | データなし |
| | 眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性 | データなし |
| | 呼吸性感作性又は皮膚感作性 | データなし |
| | 生殖細胞変異原性 | データなし |
| | 発がん性 | グループ 3 分類できない ただし、シリカ(石英)は IARC68 では 1、NTP では K、日本産業衛生学会では勧告区分 1 に分類されているため、GHS 分類区分 1A（発がん性のおそれ） |
| | 生殖毒性 | データなし |

| | | |
|-----------|--|---|
| | 特定標的臓器毒性、単回暴露 | データなし ただし、シリカ(石英)は短期暴露でも吸入濃度が高い場合は呼吸器に影響を及ぼす恐れがあるため、GHS 区分 1 (呼吸器系の障害) |
| | 特定標的臓器毒性、反復暴露 | データなし ただし、シリカ(石英)は呼吸器系、腎臓に影響を及ぼすおそれがあるため GHS 区分 1 (呼吸器系の障害) |
| | 吸引力呼吸器有害性 | データなし ただし、粉塵の吸入によりアレルギーや喘息、呼吸困難を起こすおそれあり。 |
| 12、環境影響情報 | 生態毒性 | データなし |
| | 残留性・分解性 | データなし |
| | 生態蓄積性 | データなし |
| | 土壌中の移動性 | データなし |
| | オゾン層有害性 | データなし |
| 13、廃棄上の注意 | 各地域の政令、規則に従って廃棄する。 排水処理、焼却などにより発生した廃棄物は産業廃棄物として処理すること。 また、容器等を洗浄した排水は地面や排水口へそのまま流さないこと。 焼却処理する場合には、有毒ガスを発生するため、適切な洗浄装置のある焼却炉を使用すること。 | |
| 14、輸送上の注意 | 国際規約 | 該当しない |
| | 国内規約 | 該当しない |
| | 安全対策 | 包装資材の破損、漏れのないことを確認し、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行うこと。 湿気、水濡れを避けること。 |
| 15、適用法令 | P R T R 法 | 該当しない |
| | 毒物及び劇薬物取締法 | 該当しない |
| | 労働安全衛生法 | 第 57 条 2 の 1 項 通知対象物質 番号 312 (シリカ) 第 57 条 2 の 1 項 通知対象物質 番号 379 (硫酸銅(Ⅱ)五水和物) (5)-1995 (メチレンブルー) (1)-300 (硫酸銅(Ⅱ)五水和物) |
| 16、その他情報 | 作成年月日 | 平成 26 年 10 月 日 |
| | 上記内容は、JIS Z 7253 に準じ、現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関しては、いかなる保証をなすものではありません。また、注意事項は通常の取り扱いを対象としたものですので、特別な取り扱いをする場合には、新たに用途・用法に適した安全対策を実施の上、お取扱い願います。 | |